

サステナビリティに関する重点課題及びサステナビリティ推進方針の策定、 並びに委員会名称変更のお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、アークスグループ全社で横断的にサステナビリティ経営を推進することを目的に、「サステナビリティに関する重点課題」及び「サステナビリティ推進方針」を策定いたしました。また、サステナビリティ推進に向けた専門委員会の名称を「SDGs 推進委員会」から「サステナビリティ推進委員会」に変更いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. サステナビリティに関する重点課題及びサステナビリティ推進方針策定の背景

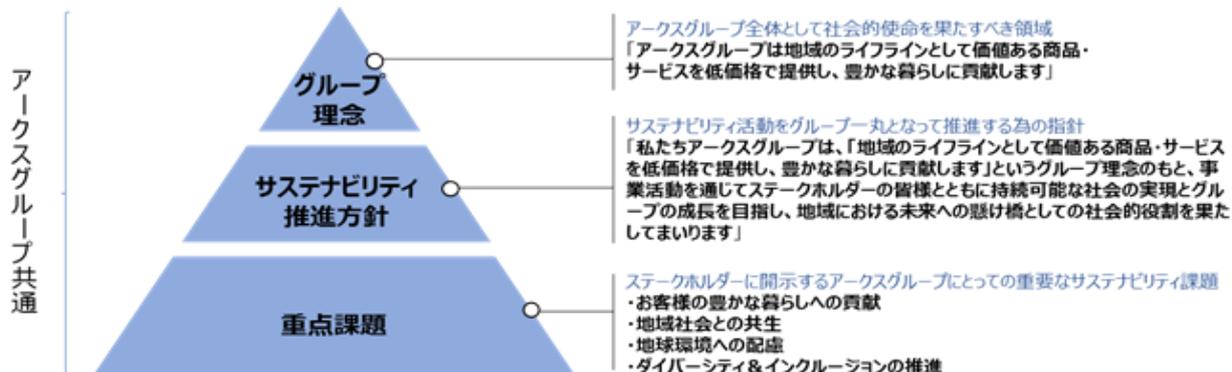
アークスグループは、「地域のライフラインとして価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します」というグループ理念を実現するために、環境対応・社会貢献・ダイバーシティ推進を重要な経営課題の一つとして捉え、従前よりこれらの課題に取り組んでまいりました。

持続可能な社会の実現に向けた活動の重要性が一段と増す中、当社並びに事業会社全社が丸となってこれらの活動を更に深化させ、サステナビリティ経営を推進するための指針として、サステナビリティに関する重点課題及びサステナビリティ推進方針を策定いたしました。

2. サステナビリティに関する重点課題及びサステナビリティ推進方針の位置付け

サステナビリティに関する重点課題とは、社会全体のサステナビリティ課題に対してアークスグループがどの領域を重要と認識しているのかステークホルダーの皆様を示すものです。

また、サステナビリティ推進方針とは、サステナビリティに関する重点課題の上位指針として、グループ理念に基づきグループ一丸となってサステナビリティ推進活動に取り組むための企業姿勢を示すものです。



3. サステナビリティに関する重点課題と取り組みの方向性

重点課題	取り組みの方向性
お客様の豊かな暮らしへの貢献	1. 多様化するお客様ニーズへの対応 2. リアルとデジタルの融合によるお客様の利便性・満足度向上 3. 食を通じたお客様の健康促進
地域社会との共生	4. 産・学・官連携による地域活性化 5. 地産地消を通じた豊かな食文化への貢献 6. 店舗における地域コミュニティ機能の発揮
地球環境への配慮	7. 気候変動への対応 8. つくる責任・つかう責任・へらす責任
※ダイバーシティ&インクルージョンの推進	9. 全ての人がいキイキと自分らしく活躍できる魅力ある職場づくり

※ダイバーシティ&インクルージョン:「多様性とその受容」と訳されます。様々なバックグラウンドや属性、志向を持つ人たちが共生できる環境を整えることで、組織や社会を活性化し、新たな価値を生み出すという考え方です。多様性（ダイバーシティ）のメリットを発揮するためには、お互いを認めて受け入れること（インクルージョン）が必要となります。

4. サステナビリティ推進方針

私たちアークスグループは、「地域のライフラインとして価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します」というグループ理念のもと、事業活動を通じてステークホルダーの皆様とともに持続可能な社会の実現とグループの成長を目指し、地域における未来への懸け橋としての社会的役割を果たしてまいります。

サステナビリティ推進方針内のキーワード及び解釈はそれぞれ以下の通りです。

キーワード	解釈
「グループ理念」	「グループ理念の追求を通じて持続可能な社会の実現に貢献する」という考えのもと、サステナビリティ推進方針にグループ理念を組み込んでおります。
「事業活動を通じて」	アークスグループの事業活動そのものが社会への貢献となり、ひいてはアークスグループの存在意義に繋がるという意味を込めております。
「懸け橋」	「私たちは何のために存在するか」という根本的な考え方を表明するコーポレートステートメント「豊かな大地に輝く懸け橋」から引用しております。持続可能な社会を実現するためには中長期的な未来を見据えた活動が必要であることから、「未来への」という言葉を付しております。
「グループの成長」	アークスグループの事業活動そのものが社会への貢献となり、グループの成長が社会への貢献に対する持続可能性を高めていくという思いを込めております。

5. サステナビリティに関する重点課題及びサステナビリティ推進方針の策定プロセス

サステナビリティに関する重点課題及びサステナビリティ推進方針は、以下5STEP を経て策定いたしました。

各 STEP	実施内容
STEP 1	サステナビリティに関する重点課題の策定に向け、各ステークホルダー（お客様、お取引先、株主、従業員）へのヒアリング結果を基に課題候補となる項目の洗い出しを実施。
STEP 2	推進委員会事務局並びに社外取締役・社外監査役の意見を反映し、各項目の類似性に基づきグルーピングを実施。
STEP 3	グルーピング結果を基にステークホルダー並びにアークスグループにとっての重要度を考慮し、他社事例も参考としながら重点課題案を抽出。
STEP 4	重点課題案の抽出結果を基に重点課題の上位指針であるサステナビリティ推進方針案を選出。
STEP 5	推進委員会において審議の上、重点課題及び推進方針を策定し、取締役会にて承認。

6. サステナビリティ推進委員会の運営開始と名称変更

当社では、2021年11月16日付でアークスグループ SDGs 推進委員会を設置し、アークスグループ全社での横断的なサステナビリティ活動の推進に向けて協議・検討を進めてまいりました。

その後本委員会は、2022年3月16日より「サステナビリティ推進委員会」に名称変更いたしました。本名称変更は、SDGs が2030年を時限とする国際目標であるのに対し、より広範な概念である「サステナビリティ」という名称を用いることで、時限目標に捉われない永続的な活動を推進することを目的としております。

また、八ヶ岳連峰経営の特性を踏まえ、各事業会社においてもサステナビリティ推進委員会を立ち上げてまいります。

地球環境や人権問題を始めとする社会課題への関心が高まる中、持続可能な社会の実現に向けた事業活動、すなわちサステナビリティ経営の推進に向けて、アークスグループ一丸となって横断的な取り組みを進めてまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先			
札幌市中央区南十三条西十一丁目2番32号			
株式会社アークス			
経営企画グループ	ゼネラルマネジャー	三浦	恵美子
業務改革室	マネジャー	淵上	玲子
TEL : 011 (530) 1050		FAX : 011 (530) 1010	